

# TC22/TC27

タッチ コンピュータ



**ZEBRA**

クイック スタート ガイド

2024/03/26

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。©2023 Zebra Technologies Corporation および/またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約または秘密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアの使用またはコピーは、これらの契約の条件に従ってのみ行うことができます。

法的事項および所有権に関する表明の詳細については、以下を参照してください。

ソフトウェア: [zebra.com/linkoslegal](https://zebra.com/linkoslegal).

著作権および商標: [zebra.com/copyright](https://zebra.com/copyright).

特許: [ip.zebra.com](https://ip.zebra.com).

保証: [zebra.com/warranty](https://zebra.com/warranty).

エンドユーザー ソフトウェア使用許諾契約: [zebra.com/eula](https://zebra.com/eula).

## 使用の条件

### 所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

### 製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

### 免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、かかる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任は負わないものとします。

### 責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、あるいは同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

## パッケージの開梱

TC22/TC27 を受け取ったら、すべてのアイテムが梱包箱に入っていることをご確認ください。

1. デバイスを覆っている保護材をすべて慎重に取り外して、後で保管や搬送に使用できるように梱包箱を保管しておきます。
2. 次のものが含まれていることを確認します。
  - タッチ コンピュータ
  - PowerPrecision リチウムイオン バッテリ
  - 規制ガイド
3. 破損している機器がないかどうかを確認してください。不足または破損している機器がある場合は、直ちにグローバルカスタマサポートセンターにお問い合わせください。
4. デバイスを初めて使用する前に、スキャン ウィンドウ、ディスプレイ、カメラ ウィンドウを覆っている搬送保護フィルムをはがしてください。

## 機能

このセクションでは、TC22/TC27 のすべての機能について説明します。

図 1 正面図

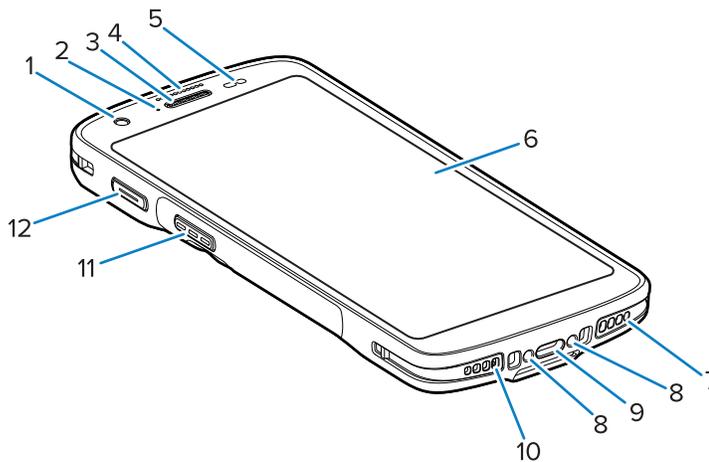


表 1 正面図の機能

番号	項目	機能
1	前面カメラ	写真やビデオを撮影します (一部のモデルで使用可能)。
2	充電/通知 LED	充電中のバッテリー充電状態とアプリケーションから生成された通知を示します。
3	スピーカ/レシーバ	ハンドセットおよびスピーカフォン モードでの音声の再生に使用します。
4	データ収集 LED	データ収集の状態を示します。

表1 正面図の機能 (Continued)

番号	項目	機能
5	光/近接センサー	ディスプレイのバックライトの光の強さを制御するために環境光を測定し、ハンドセットモードでディスプレイをオフにするために近接状態を判定します。
6	タッチスクリーン	デバイスの操作に必要な情報がすべて表示されます。
7	スピーカ	ビデオおよび音楽再生用の音声を出力します。スピーカフォンモードで音声を出力します。
8	クレードル充電端子	クレードルとアクセサリを介したデバイスの充電に使用します。
9	USB-C コネクタ ( )	ケーブルとアクセサリを介した USB ホスト、クライアント通信、デバイスの充電に使用します。
10	マイク	ハンドセットモードでの通信に使用します。
11	スキャンボタン	データ収集を開始します (プログラム可能)。
12	プログラム可能ボタン	<sup>a</sup> 通常、プッシュアウト通信で使用します。のようにプッシュアウト VoIP 通信に対して規制上の制限がある場合、このボタンは他のアプリケーションで使用できるように設定できます。

<sup>a</sup> パキスタンとカタール

図2 背面図

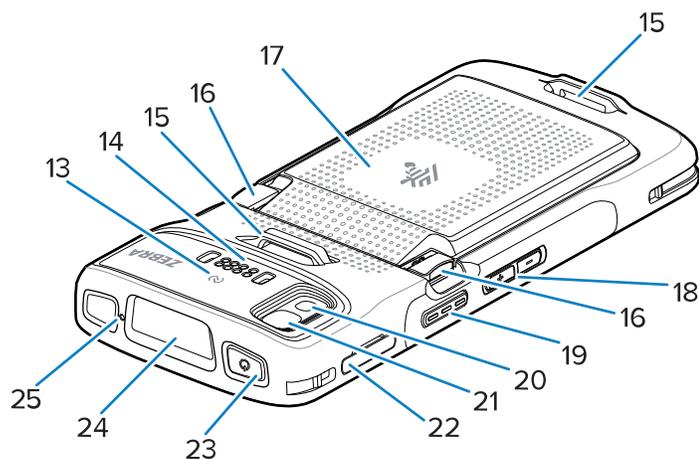


表2 背面図の機能

番号	項目	機能
13	NFC アンテナ	他の NFC 対応デバイスとの通信に使用します。
14	背面の共通 I/O 8 ピン	ホスト通信、オーディオ、ケーブルおよびアクセサリを介したデバイスの充電に使用します。

表2 背面図の機能 (Continued)

番号	項目	機能
15	ベーシック ハンドストラップ マウント	ベーシック ハンドストラップ アクセサリ用の取 り付けポイントになります。
16	バッテリー リリース ラッチ	押して、バッテリーを取り外します。
17	PowerPrecision リチウムイオン バッテリー	デバイスに電力を供給します。
18	音量上/下ボタン	音声のボリュームを調節します (プログラム可 能)。
19	スキャン ボタン	データ収集を開始します (プログラム可能)。
20	カメラ フラッシュ	カメラのフラッシュや懐中電灯として使用しま す。
21	背面カメラ	写真やビデオを撮影します。
22	カード ホルダ	SIM カードや SD カードを入れます。
23	電源ボタン	ディスプレイをオン/オフにします。長押しする と、本デバイスのリセットまたは電源オフが行え ます。
24	スキャナ ウィンドウ	イメージャによるデータ収集に使用します。
25	マイク	スピーカフォン モードでの通話に使用します。

## 本デバイスのセットアップ

TC22/TC27 の使用を開始するには、以下の手順を実行してください。

デバイスを初めて使用する際には、次のことを行います。

1. マイクロセキュア デジタル (SD) カードを取り付けます (オプション)。
2. nanoSIM カードを取り付けます (オプション)
3. バッテリーを取り付けます。
4. デバイスを充電します。

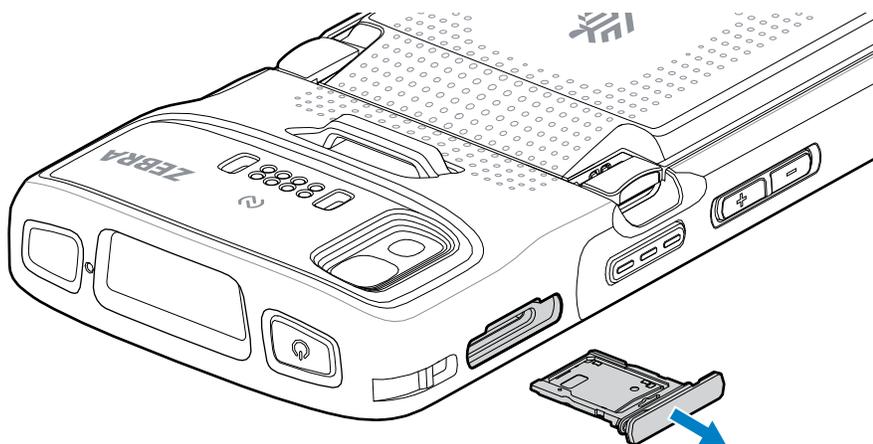
## microSD カードの取り付け

TC22/TC27 microSD カード スロットを不揮発性のセカンダリ ストレージとして使用できます。スロットはバッテリー パックの下にあります。詳細については、カードに添付されているマニュアルを参照し、メーカーの推奨使用方法に従ってください。

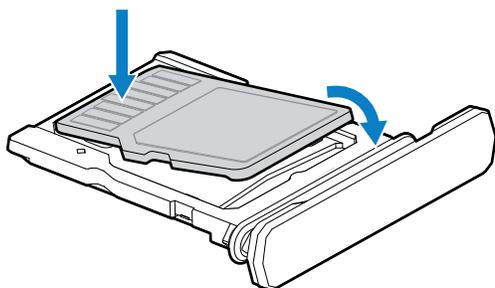


**注意：**microSD カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マットでの作業、および作業者が適切に接地されていることの確認が含まれますが、これらに限定されません。

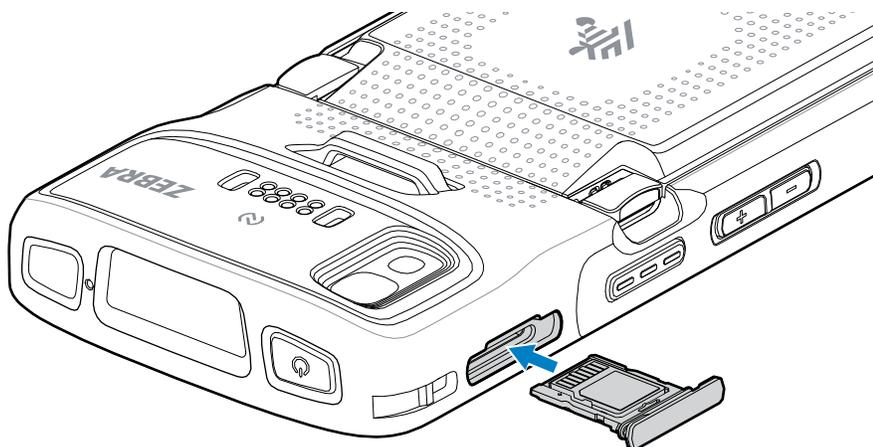
1. カードホルダをデバイスから引き出します。



2. 端子を上にして、端子側から microSD カードをカードホルダに置きます。



3. microSD カードを下に傾けます。
4. カードをカードホルダに押し込み、しっかりと装着します。
5. カードホルダを差し込みます。



## SIM カードの取り付け

TC27 を使用してモバイル ネットワーク経由で通話を発信し、データを転送するには SIM カードが必要です。

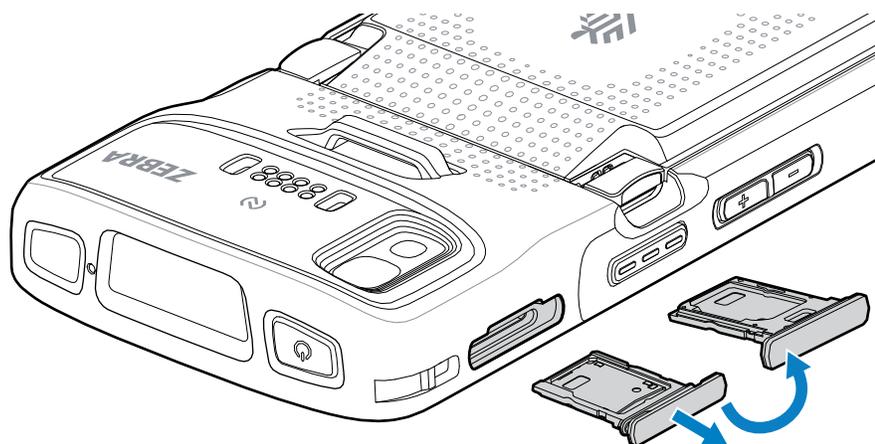


**注:** nano SIM カードのみを使用してください。



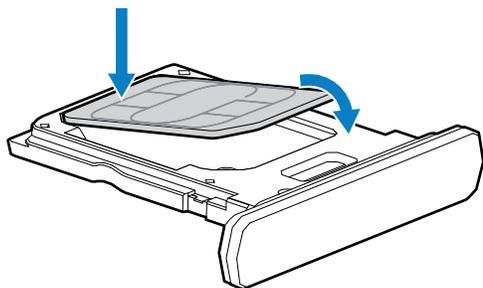
**注意:** SIM カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上で作業を実施することやユーザーを適切に接地することなどが含まれますが、これらに限定されません。

1. カードホルダをデバイスから引き出します。



2. カードホルダを裏返します。

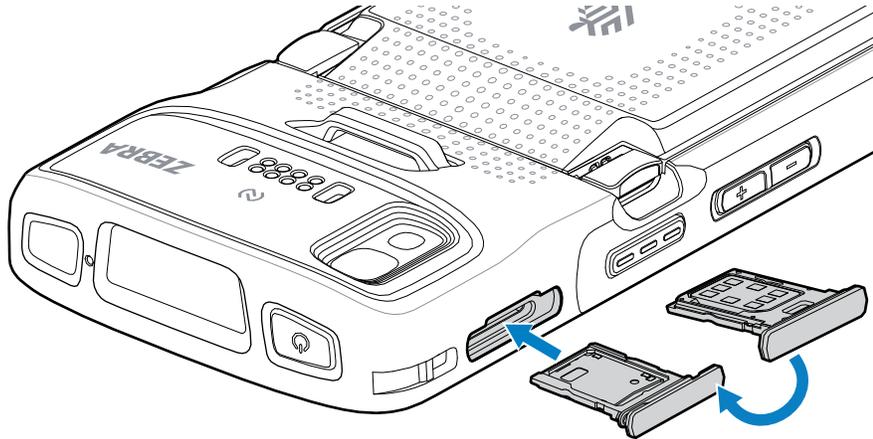
3. 端子を上にして、SIM カードの端をカードホルダに置きます。



4. SIM カードを下に傾けます。

5. SIM カードをカードホルダに押し込み、しっかりと装着します。

6. カードホルダを裏返して、カードホルダを差し込みます。

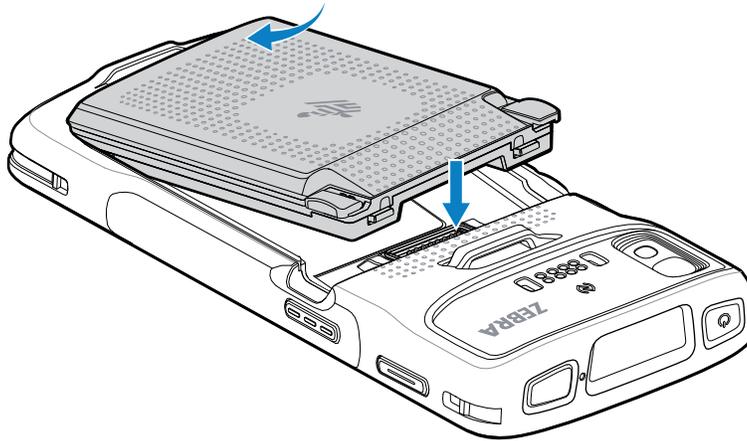


## バッテリーの取り付け



注：ユーザーが本デバイス（特にバッテリー受け）に対して、ラベル、資産タグ、刻印、ステッカーなどの改変を加えると、本デバイスまたはアクセサリの意図された性能が損なわれる可能性があります。シーリング（保護等級（IP））、衝撃性能（落下および転倒）、機能、および耐熱性などの性能レベルが影響を受けることがあります。バッテリー受けにラベル、資産タグ、刻印、ステッカーなどを付けないでください。

1. デバイスの背面のバッテリー収納部に、バッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。



2. バッテリーリリースラッチが所定の位置に収まるまで、バッテリーをバッテリー収納部に押し下げます。

## eSIM のアクティブ化

TC27 は SIM カード、eSIM、またはその両方を使用できます。メッセージや通話など、どのアクションに、どの SIM を使用するかを選択できます。eSIM を使用する前に、アクティブ化する必要があります。



注：eSIM を追加する前に携帯電話会社に連絡して、eSIM サービスとそのアクティベーションコードまたは QR コードを入手してください。

eSIM をアクティブ化するには：

1. デバイスで、SIM カードを挿入した状態で Wi-Fi または携帯電話データを介してインターネット接続を確立します。
2. **[Settings] (設定)** に移動します。
3. **[Network & Internet] (ネットワークとインターネット) > [Mobile Networks] (モバイル ネットワーク)** の順にタッチします。
4. SIM がすでに挿入されている場合は **SIM** の横にある + をタッチするか、SIM カードが挿入されていない場合は **SIM** をタッチします。  
**[Mobile network] (モバイル ネットワーク)** 画面が表示されます。
5. **[MANUAL CODE ENTRY] (手動コード入力)** を選択してアクティベーション コードを入力するか、**[SCAN] (スキャン)** をタッチして QR コードをスキャンし、eSIM プロファイルをダウンロードします。  
**[Confirmation!!!!] (確認!!!!)** ダイアログ ボックスが表示されます。
6. **[OK]** をタッチします。
7. アクティベーション コードを入力するか、QR コードをスキャンします。
8. **[NEXT] (次へ)** をタッチします。  
「**Downloading a profile (プロファイルのダウンロード中)**」メッセージが表示され、次に「**Use Network Name? (ネットワーク名を使用しますか?)**」メッセージが表示されます。
9. **[ACTIVATE] (アクティブ化)** をタッチします。
10. **[Done] (完了)** をタッチします。  
eSIM がアクティブ化されます。

## eSIM の非アクティブ化

TC27 の eSIM は一時的にオフにして、後で再アクティベートすることができます。

eSIM を非アクティブ化するには:

1. デバイスで、SIM カードを挿入した状態で Wi-Fi または携帯電話データを介してインターネット接続を確立します。
2. **[Network & Internet] (ネットワークとインターネット) > [SIM]** の順にタッチします。
3. **[Download SIM] (SIM のダウンロード)** セクションで、非アクティブ化する eSIM をタッチします。
4. **[Use SIM] (SIM を使用)** スイッチをタッチして eSIM をオフにします。
5. **[Yes] (はい)** をタッチします。  
eSIM が非アクティブ化されます。

## eSIM プロファイルの消去

eSIM プロファイルを消去すると、TC27 デバイスから完全に削除されます。



**注:** デバイスから eSIM を消去した後は、再使用できません。

eSIM を消去するには:

1. デバイスで、SIM カードを挿入した状態で Wi-Fi または携帯電話データを介してインターネット接続を確立します。

2. [Network & Internet] (ネットワークとインターネット) > [SIM] の順にタッチします。
3. [Download SIM] (SIM のダウンロード) セクションで、消去する eSIM をタッチします。
4. [Erase] (消去) をタッチします。  
「Erase this downloaded SIM? (ダウンロードした SIM を消去しますか?)」メッセージが表示されます。
5. [Erase] (消去) をタッチします。  
eSIM プロファイルがデバイスから消去されます。

## デバイスの充電



**注意:** 本デバイスの『Product Reference Guide』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

デバイスおよび/または予備バッテリーを充電するには、次のアクセサリのいずれかを使用します。



**注:** 予備バッテリーは、標準バッテリーと拡張バッテリーの両方を充電できます。

表3 充電と通信

説明	部品番号	充電		通信	
		バッテリー (デバイス内)	予備バッテリー	USB	イーサネット
1 スロット充電専用クレードル	CRD-TC2L-BS1CO-01	あり	なし	なし	なし
1 スロット USB クレードル	CRD-TC2L-SE1ET-01	あり	なし	あり	なし
1 スロット充電専用クレードル (予備バッテリークレードル付き)	CRD-TC2L-BS11B-01	あり	あり	なし	なし
4 スロット バッテリー充電器	SAC-TC2L-4SCHG-01	なし	あり	なし	なし
5 スロット充電専用クレードル	CRD-TC2L-BS5CO-01	あり	なし	なし	なし
5 スロットイーサネットクレードル	CRD-TC2L-SE5ET-01	あり	なし	なし	あり

## メインバッテリーの充電

デバイスを初めて使用する場合、まず充電/通知 LED が緑色に点灯するまで、メインバッテリーを充電します。デバイスを充電するには、ケーブルまたはクレードルと適切な電源を使用します。

バッテリーは3種類あります。

- 標準 3,800 mAh PowerPrecision LI-ON バッテリー - 部品番号: BTRY-TC2L-2XMAXX-01
- 標準 3,800 mAh PowerPrecision LI-ON バッテリー (BLE ビーコン付き) - 部品番号: BTRY-TC2L-2XMAXB-01
- 拡張 5,200 mAh PowerPrecision LI-ON バッテリー - 部品番号: BTRY-TC2L-3XMAXX-01

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示しています。標準バッテリーが完全に空になっている場合は、1 時間 20 分以内に 80% まで充電されます。拡張バッテリーが完全に空になっている場合は、1 時間 50 分以内に 80% まで充電されます。



**注:** デバイスをスリープモードにして、室温でバッテリーを充電してください。

**表 4** 充電/通知 LED 充電インジケータ

状態	説明
オフ	デバイスが充電されていません。デバイスが正しくクレードルに挿入されていないか、正しく電源に接続されていません。充電器/クレードルに電源が供給されていません。
黄色でゆっくりと点滅 (4 秒に 1 回点滅)	デバイスを充電中です。
赤色でゆっくりと点滅 (4 秒に 1 回点滅)	デバイスを充電中ですが、バッテリーの寿命が近づいています。
緑色で点灯	充電が完了しました。
赤色で点灯	充電が完了しましたが、バッテリーの寿命が近づいています。
黄色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)	充電エラーです。次のような場合に、この状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 温度が低すぎるか、高すぎます。</li> <li>• 充電完了までの時間が長すぎます (通常は 8 時間)。</li> </ul>
赤色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)	充電エラーです。バッテリーの寿命が近づいています。次のような場合に、この状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 温度が低すぎるか、高すぎます。</li> <li>• 充電完了までの時間が長すぎます (通常は 8 時間)。</li> </ul>

## 予備バッテリーの充電

4 スロット バッテリー充電器の予備バッテリー充電 LED は、予備バッテリーの充電状態を示します。標準および拡張バッテリーが完全に空になっている場合は、4 時間以内に 90% まで充電されます。

LED	説明
黄色で点灯	予備バッテリーを充電中です。
緑色で点灯	予備バッテリーの充電が完了しました。
赤色で点灯	予備バッテリーを充電中ですが、バッテリーの寿命が近づいています。充電は完了していますが、バッテリーの寿命が近づいています。
赤色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)	充電中にエラーが発生しました。予備バッテリーが正しく挿入されているか確認してください。バッテリーの寿命が近づいています。
オフ	スロットに予備バッテリーがありません。予備バッテリーがスロットに正しく装着されていません。クレードルに電源が供給されていません。

## 充電温度

バッテリーは、5～40°C (41～104°F) の温度で充電してください。デバイスまたはクレードルは、常に安全かつ適切な方法で充電します。高温時 (約 37°C 以上 (98°F 以上) など) には、デバイスまたはクレードルは、バッテリーの充電を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容温度に保つ場合があります。異常な温度のために充電が無効になった場合は、デバイスとクレードルの LED にエラーが表示されます。

## 1 スロット充電専用クレードル

このクレードルはデバイスに電力を供給します。

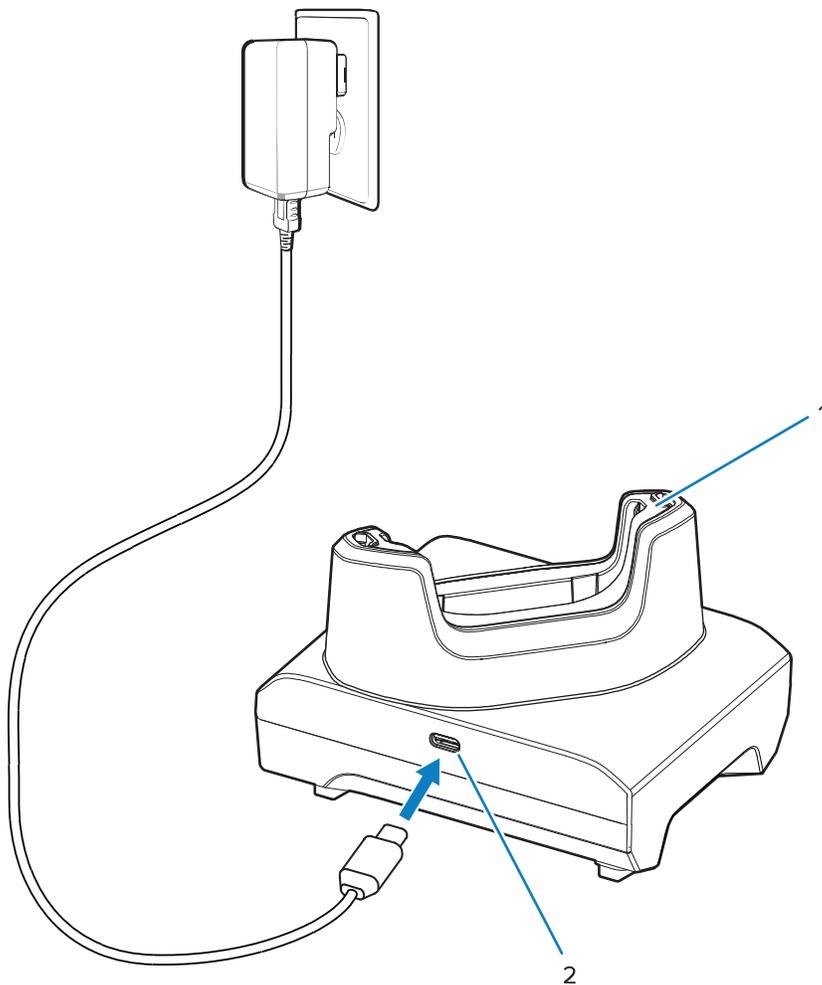


**注意：**『Product Reference Guide』に記載されているバッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

1 スロット充電専用クレードルには、次のような機能があります。

- デバイスの操作に必要な DC 5V の電力を供給します。
- デバイスのバッテリーを充電します。

図3 1 スロット充電専用クレードル



1	シム付きのデバイス充電スロット。
2	USB 電源ポート。

## 1 スロット USB クレードル

このクレードルは、電源および USB 通信に利用できます。

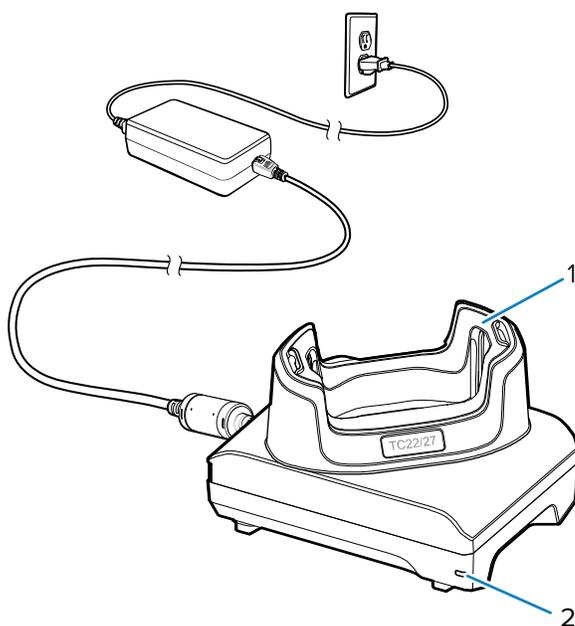


**注意：**『Product Reference Guide』に記載されているバッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

1 スロット USB クレードルには、次のような機能があります。

- デバイスの操作に必要な DC 5V の電力を供給します。
- デバイスのバッテリーを充電します。
- ホスト コンピュータとの USB 通信を実行します。
- オプションのイーサネット モジュールとブラケットを使用すると、ホスト コンピュータとの USB 通信やネットワークとのイーサネット通信を行えます。

図4 1 スロット USB クレードル



1	シム付きのデバイス充電スロット。
2	電源 LED

## 1 スロット充電専用クレードル (予備バッテリー クレードル付き)

このクレードルは、デバイスと予備バッテリーに充電する電力を供給します。

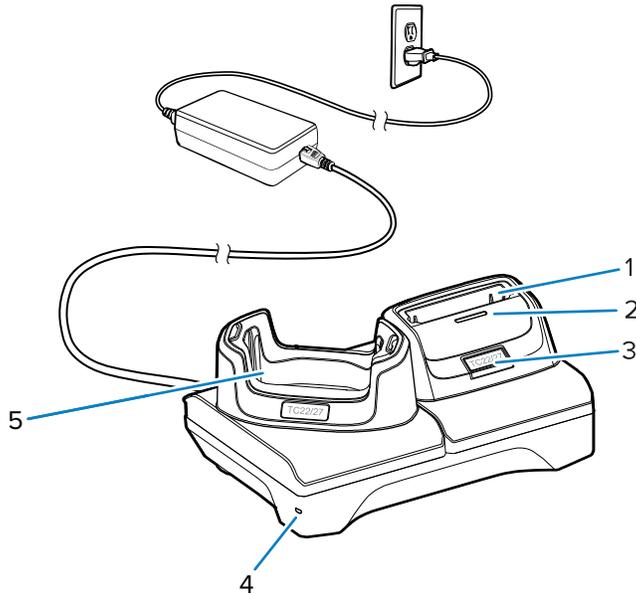


**注意：**『Product Reference Guide』に記載されているバッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

1 スロット充電専用 (予備バッテリー クレードル付き) には、次のような機能があります。

- デバイスの操作に必要な DC 5V の電力を供給します。
- デバイスのバッテリーを充電します。
- 予備バッテリーを充電します。

図5 1 スロット クレードル (予備バッテリー スロット付き)



1	予備バッテリー充電スロット
2	予備バッテリー充電 LED
3	USB-C ポート USB-C ポートはファームウェアのアップグレード専用のサービス コネクタで、充電用ではありません。
4	電源 LED
5	シム付きのデバイスの充電スロット

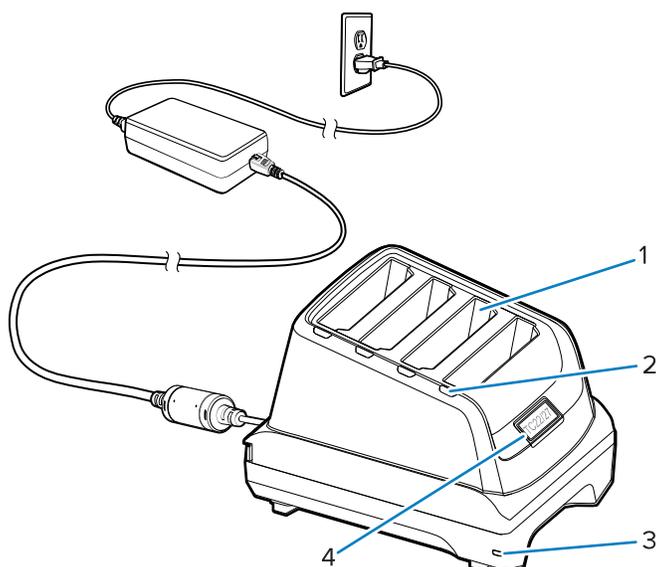
## 4 スロット バッテリー充電器

ここでは、4 スロット バッテリー充電器を使用して最大 4 台のデバイスのバッテリーを充電する方法について説明します。



**注意：**『Product Reference Guide』に記載されているバッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

図6 4スロット バッテリ充電器



1	バッテリー スロット
2	バッテリー充電 LED
3	電源 LED
4	USB-C ポート USB-C ポートはファームウェアのアップグレード専用のサービスコネクタで、充電用ではありません。

## 5 スロット充電専用クレードル

5 スロット バッテリ充電器を使用して最大 5 台のデバイスのバッテリーを充電する方法について説明します。

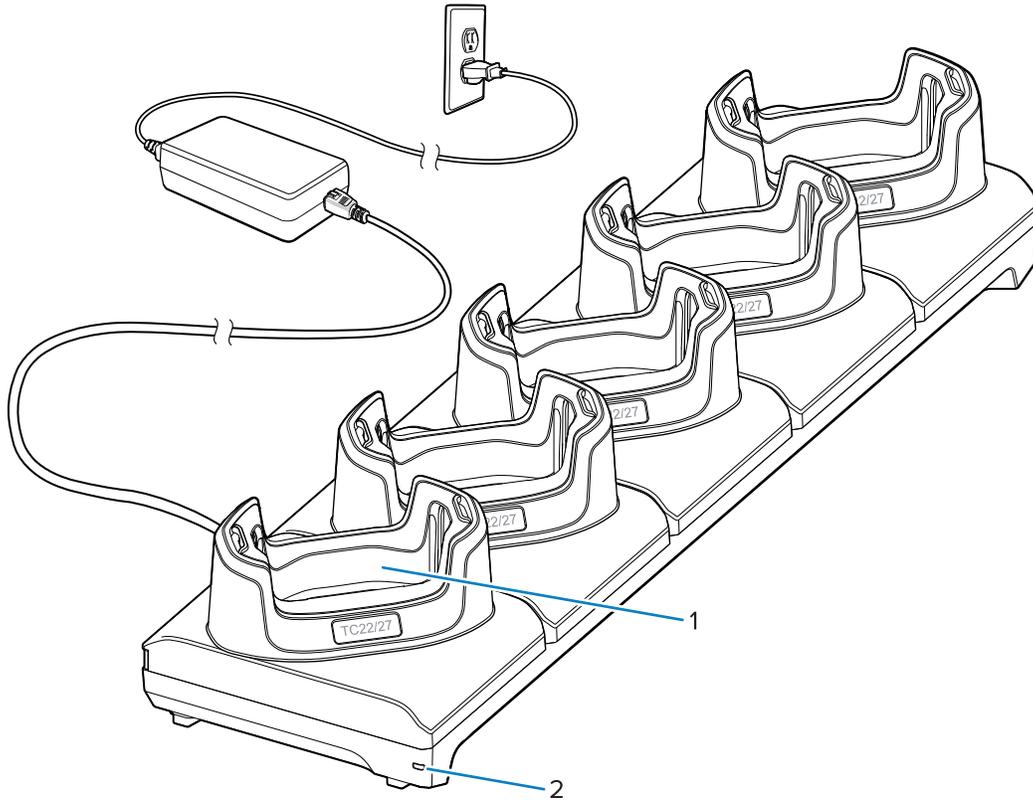


**注意：**『Product Reference Guide』に記載されているバッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

5 スロット充電専用クレードルには、次のような機能があります。

- デバイスの操作に必要な DC 5V の電力を供給します。
- 最大 5 台のデバイスを同時に充電します。

図7 5スロット充電専用クレードル



1	シム付きのデバイスの充電スロット
2	電源 LED

## 5スロットイーサネットクレードル

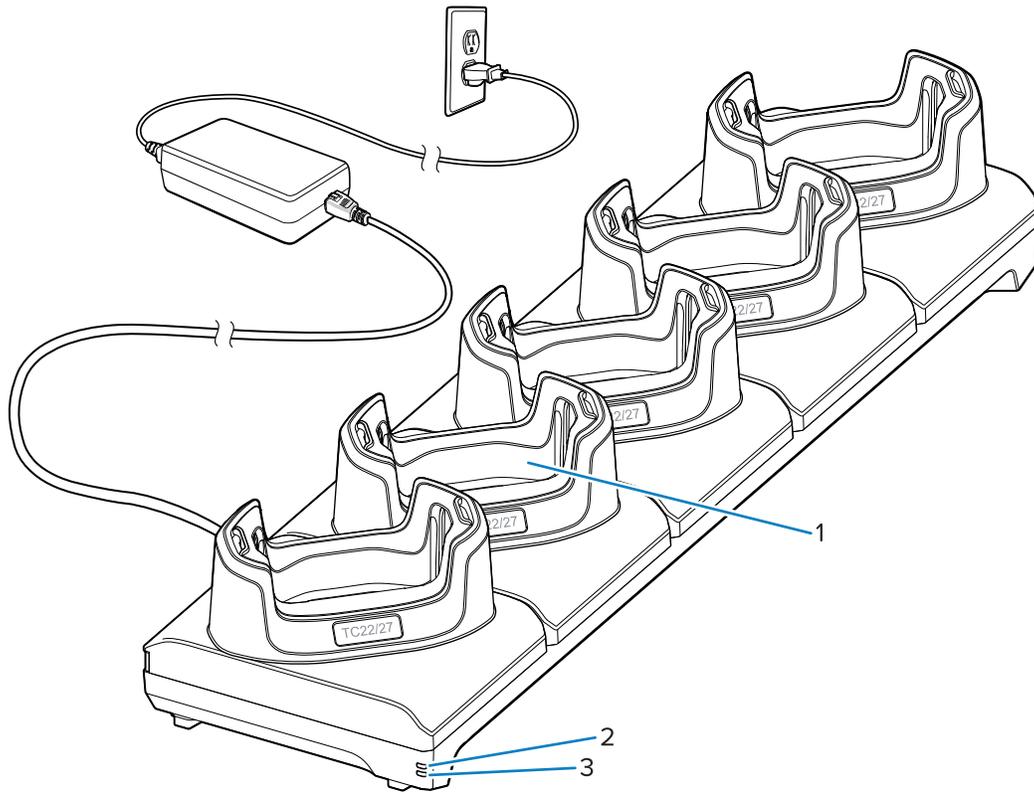


**注意：**『Product Reference Guide』に記載されているバッテリーの安全に関するガイドラインに従うようにしてください。

5スロットイーサネットクレードルには、次のような機能があります。

- デバイスの操作に必要な DC 5V の電力を供給します。
- デバイス (最大 5 台) をイーサネットネットワークに接続します。
- 最大 5 台のデバイスを同時に充電します。

図8 5スロットイーサネットクレードル

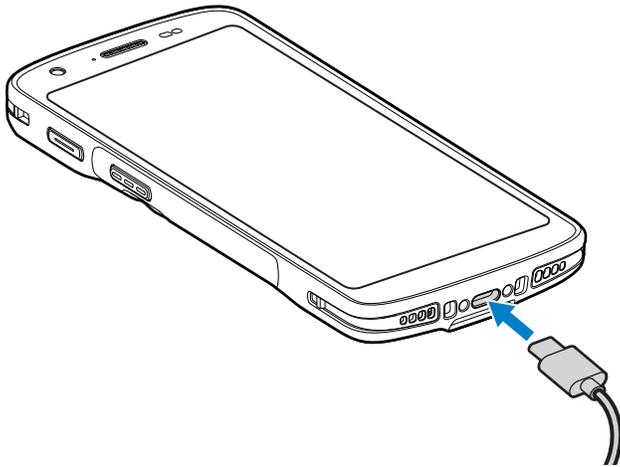


1	シム付きのデバイスの充電スロット
2	1000 LED
3	100/100 LED

## USB ケーブル

USB ケーブルをデバイスの下部に差し込みます。デバイスに接続すると、充電、ホストコンピュータへのデータ転送、USB 周辺機器の接続ができるようになります。

図 9 USB ケーブル



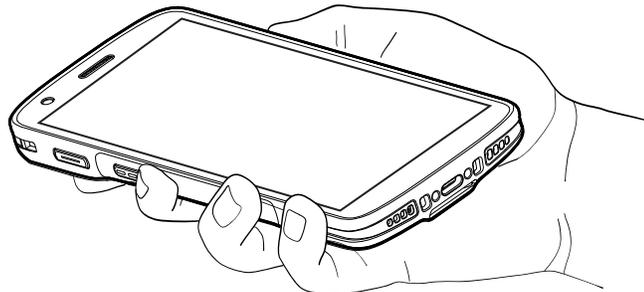
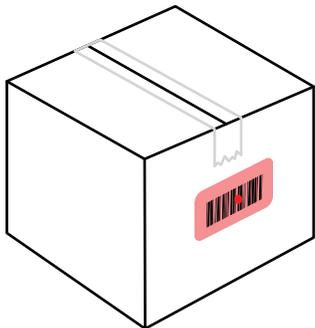
## 内部イメージャでのスキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。このデバイスには、イメージャでバーコードデータを読み取ったり、バーコードコンテンツを表示したりできる、DataWedge アプリケーションが含まれています。



**注:** SE55 には緑色のダッシュドットダッシュ照準が表示されます。SE4710 イメージャには赤色のドット照準が表示されます。

1. デバイスでアプリケーションが開かれており、テキストフィールドがフォーカスされている (テキストカーソルがテキストフィールドにある) ようにします。
2. デバイスのスキャナウィンドウをバーコードに向けます。



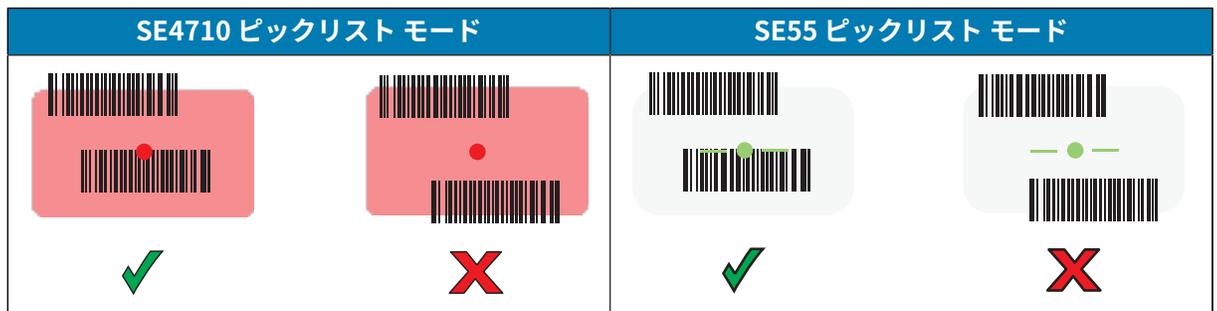
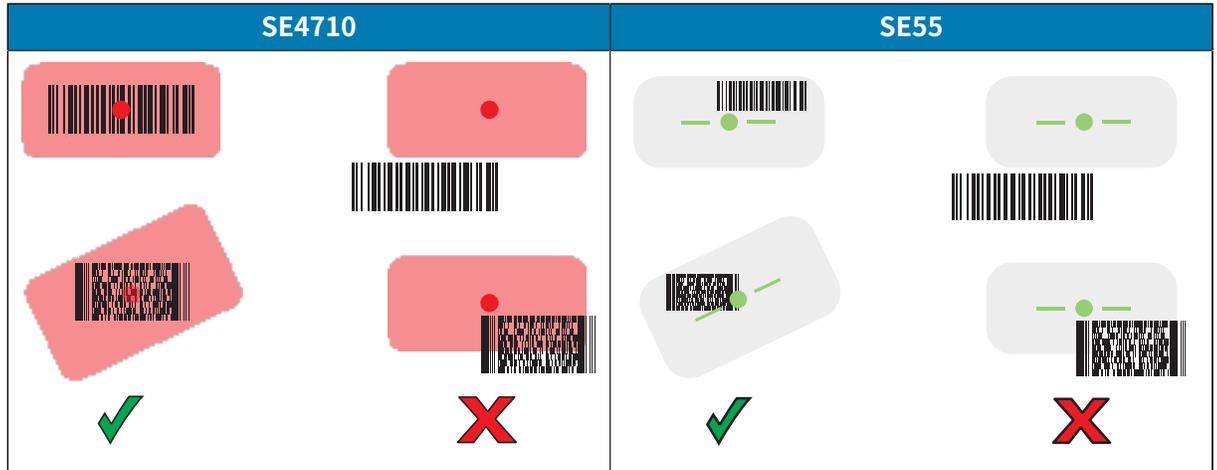
3. スキャン ボタンを押し続けます。

デバイスは照準パターンを投影します。



**注:** デバイスがピック リスト モードの場合、デバイスはドットの中心がバーコードに当たるまでバーコードを読み取りません。

4. 照準パターンの領域にバーコードが納まっていることを確認します。照準ドットは明るい照明条件下で視認性を向上させるために使用されます。



デフォルト設定の場合、データ収集 LED が緑色で点灯してピープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。

5. スキャン ボタンを放します。

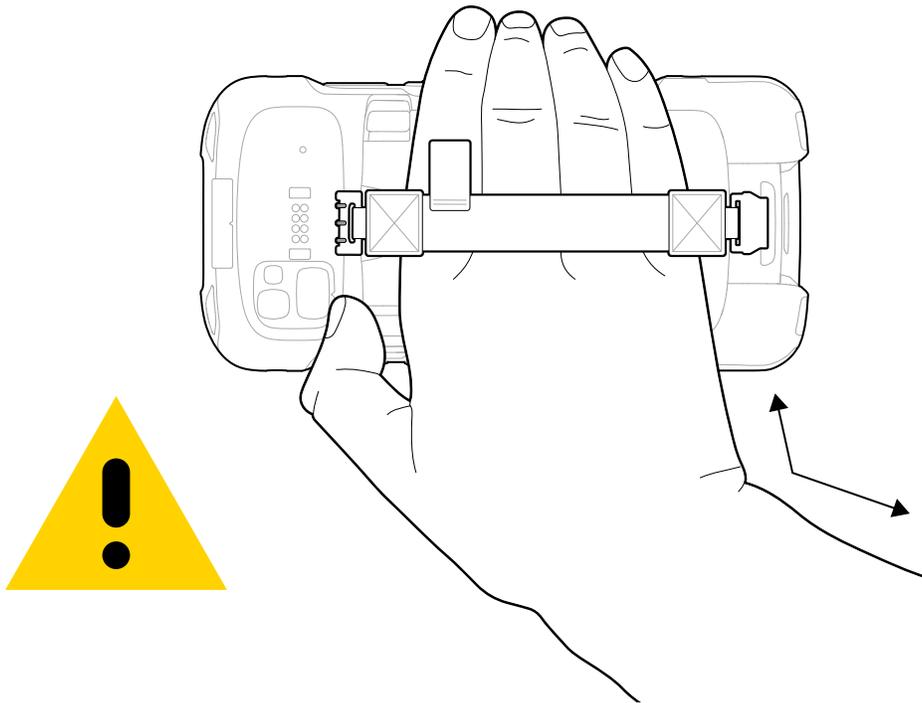
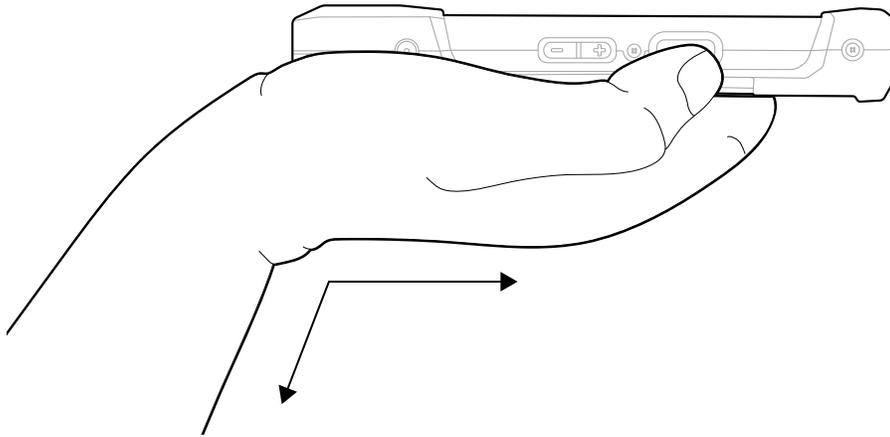


**注:** イメージャの読み取りは通常、瞬時に行われます。精度の悪いまたは読み取りづらいバーコードの場合は、スキャン ボタンを押し続けると、デジタル写真 (画像) を撮影する手順が繰り返されます。

デバイスのテキスト フィールドにバーコード データが表示されます。

## 人間工学に関する考慮事項

デバイスを使用する際は、このように手首を極端に曲げないでください。



## サービスに関する情報

Zebra の認定部品を使用した修理サービスは、製造終了後少なくとも 3 年間利用可能です。[zebra.com/support](https://zebra.com/support) からリクエストしてください。

